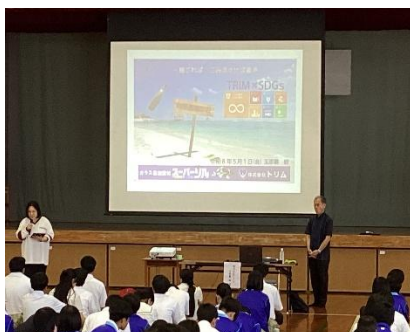


◆ トリム講話 (5月1日)

5月1日(金)に株式会社トリムの玉那覇毅様に1年生向け講話を頂きました。そのままだとゴミになってしまうものを身近な物に発想を得て商品化する過程、製造の仕組みを他県に販売し、広げていく取り組み等、これから探究を始める我々にとって示唆に富む、刺激を頂けるお話でした。今日は講話の様子と生徒の感想をお伝えします。



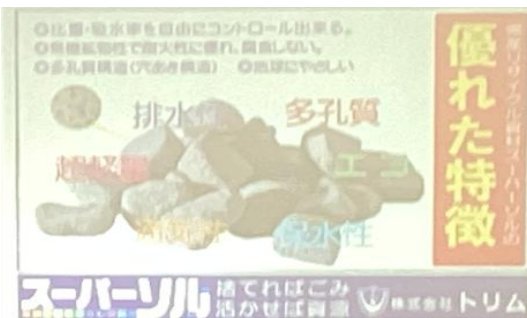
・講話スタート



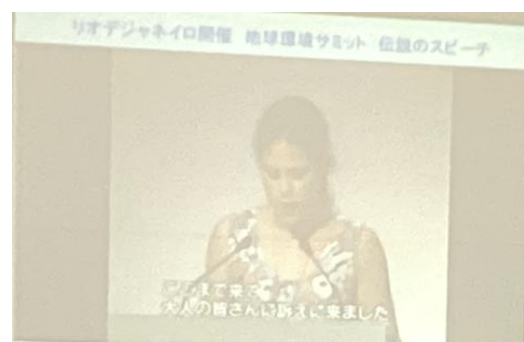
・講師の玉那覇毅様



・生徒の皆さんの様子



・そのままではゴミになってしまう空き瓶を、身近な物に着想を得て資源に変えます。



- ・「感動とは、感じて、動くこと」
- ・最後のお礼の言葉も素晴らしかったです。
(1年6組末吉希彩さん)

◎生徒の皆さんの感想 (一部要約)

- ・捨てられていたものに新たな価値を見出す仕事を初めて知ったので、とても興味深い事業だなと思った。
- ・問題を解決する、何かを発明するときには真新しい発想を求めがちだが、身近なものや過程の仕組みにヒントがあるかもしれないと気がつくことが出来ました。身近な仕組みにも目を向けて、かつそれを土台として新たな発想へと転換できたらいいなと考えました。
- ・玉那覇さんのお話から、リサイクルに対する強い思いや、環境を守りながら地域に貢献したいという気持ちが伝わってきた。廃ガラスを活用して新しいものを作る発想が印象に残った。
- ・廃棄されている物を利用し、新しい資源やエネルギーの開発をSSHで行いたい。